

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口

—11月30日現在—
9,715人 男... 4,724人 女... 4,991人
世帯数..... 2,620
転入 25 出生 4
転出 34 死亡 11



大地を駆ける

昭和53年がスタートした。〝異常暖冬〟と呼ばれるが、校庭の風は冷たい。その中を子供たちは元気いっぱいボールを追って走っている。明日をにう子供らの掛け声が初空にこだまする。限りなき夢と可能を含み——。

第221号
昭和53年

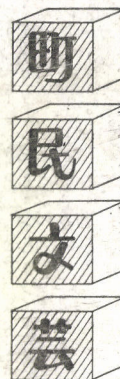
1月

おもな内容

- 新年のごあいさつ (町長・町議会議長)(2)
- 1月15日は成人式.....(3)
- 高森町・農業の現状と問題点 (新春放談) ... (4)~(5)
- 初夢・新春インタビュー.....(6)~(7)
- 本町が省資源・省エネルギーのモデル町村に.....(8)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌.....(9)
- みんなの広場・解放の力.....(11)

2月5日	1月29日	1月22日	1月15日	1月8日
高森②0016 本院	高森②0075 小林院	高森②0378 寺崎院	高森②0309 東院	高森②0646 馬原院

日曜
在宅医
診療は午前9時から午後5時まで



肥後狂句

そっくり 公徳心に拾われ
割り切って 媽にバトロン持たせざる
でも まっだ指切りだけの仲
割り切って 失恋しても出ん涙
駅前で フラッシュ浴びる優勝旗
割り切って ホームに別居する姑
でも 団体さんじゃ儲からん
割り切って おもしろい夫婦可会さず
アクビ 長尻の客追い立つる
割り切って 財産なんか目もくれん
でも 領収証は書いてくれ
駅前で 始めた屋台大当り

浦塚 南天
林田 一声
岡本 琴司
林 不忘
田上 黙公子
馬原 馬笑

俳句

臥して聞く秒針の音去年今年
賀状東ねんごろに読む陽当りに
子の部屋の今もそのままだ
掛け替えし軸の午跳ね鏡餅
山芋を売って買物年の市
背のびして孫のめくれる初暦
拝殿の鈴大振りに冬紅葉
産湯する孫に冬陽の暖かく
初暦掛けて平凡祈りつゝ
新しきトンネル通し山眠る
母子して蒼ゆたかに七日粥
石畳足音冴えし初詣
初暦受験の重みずしりと
なすな打つ昨日も今日も恙なく
願いごとあまた抱えし初詣
冬の夜の日記したゝむ事多し

那須 きぬ子
内田 文子
松岡 のぶ子
桐原 寿
林 久恵
柴田 ふい子
古庄 泰子
平田 るり子

おめでた おくやみ

出生	S52.11.16~12.15受付			
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
下町	津留 和守	謙太郎	男	S52.11.7
横町	中山 秋広	亜紀	女	52.11.27
上在	中川 陸雄	ちずる	女	52.12.4
下町	大塚 弘倫	史崇	男	52.11.27
津留	佐田 成二	巳千男	男	52.12.2
菅山	古庄 謙一	龍悟	男	52.11.20

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死年月日)
村山	三井 勝美 父	三井麻須男	81	52.11.16	
東中原	工藤 雪雄 母	工藤トキエ	75	52.11.26	
大村	橋本野徳繁 母	橋本野スヤ	89	52.12.6	
旭通	木津イマコ 夫	木津 又雄	60	52.12.7	
横町	岩下 定春 母	岩下 ミサ	81	52.12.8	
戸狩	岩下 幸文 父	岩下 幸保	78	52.12.12	
大畑	藤本 厚夫 祖父	藤本 三末	85	52.11.29	
菅山	田代ウメエ 夫	田代 實	69	52.11.30	
中	本多オシエ 夫	本多 寛	81	52.12.11	

雑詠

人生の行路

上色見 後藤 嘉平

○夢の間に八十路は了へぬ此の
後の九重の旅路たのしまんかな
○あゆみ来しあと顧り見て思ふな
り不平は地獄感謝極楽

▽高森上在の佐藤次俊さんから
(お婆、山室フサエさん死去)
▽高森村山の三井勝美さんから
(父、麻須男さん・81歳死去)
▽大字津留の野尻スエ子さんから
(夫、一郎さん・51歳死去)

(こ)(寄)(付)

ありがとうございます

▽永野原の甲斐ミキエさんから
(夫、千鶴雄さん・41歳死去)
▽高森下町の森野久士さんから
(二男、健士さん・28歳死去)
▽上色見の橋本野徳繁さんから
(母、スヤさん・89歳死去)
▽大字中の本多典生さんから
(父、寛さん・81歳死去)
▽高森旭通の木津イマ子さんから
(夫、又雄さん・60歳死去)
▽高森町有志から(藤野、長山、
津留三氏の祝賀会々費残金)
△以上、町社協▽
その他の寄付
▽高森旭通の岩下ヤスエさんから
(歳末助け合いの寄付金)
▽尾下の古沢豊喜さんから
(野尻保育園に国旗掲揚台を)



春 1978

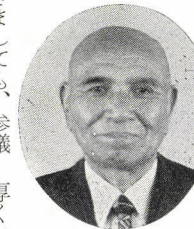
あけましておめでとうござい
す。昭和五十三年の新春を迎え、
皆様方のご健勝とご多幸をお祈り
申し上げますとともに、平素のご
支援、ご協力に對し衷心より感謝
申し上げます。

さて、昨年は
円高、ドル安の
影響などによ
り、国内外情勢
とも多事多難の
年でありまし
た。本年もまた昨年同様、政治的
にも経済的にも厳しい情勢のもと
に推移せざるを得ない一年と推察
されます。高度成長から低成長に
移行した日本経済のもと、地方財
政も例外でなく、限られた財源の

昭和五十三年の新春を迎え、町
議会を代表いたしまして謹んで年
頭のご祝詞を申し上げます。

新年おめでとうござい。皆
様のご清福とご繁栄を心からお祈
り申し上げます。

願ひます
と、昨年は一昨
年に引き続き経
済不況で、町内
外ともに多事多
難な年でありま
した。政界におきましても、参議
院議員選挙に続く同補欠選挙が行
われ、新内閣が誕生いたしました
が、景気浮揚策の効果も著しいも
のを見ることなく、苦しい情勢の



高森町議会議長

松田 富男

年頭のご祝詞

厚くお礼申し上げます。
町村合併以来、ともに歩き続け
て参りました合併二十周年の年で
ありまして、町道や農道の整備、
町民センターの落成、河原小学校

通などは阿蘇南郷に住む私たちに
とって明るいニュースとなったこ
とはご周知のとおりであります。
しかし今後に残されました問題
は山積しております。昨年の秋に

新年のご挨拶

高森町長 岩下 八束

く意を新たにしたいところですが、
幸い山村振興事業、第二次林業構
造改善事業、団体営草地開発事業
などの継続事業が順調に進捗した
のをはじめ、河原小学校改築、町
営住宅建設、黒岩簡易水道新設な
中に一年が暮れた感じがいたしま
す。

この昭和五十三年は不景気時代
に突入した世界経済動向と国の経
済政策に對処し、不急なものや消
費的な経費は極力節減し、町の健
全財政を堅持することに努め、目
下、推進中の町道、農道の整備や
草地開発、住宅建設は継続して行
い、新年度からは高森小学校改築
をはじめ、津留地区の簡易水道建
設、さらには野菜指定産地整備事
業による農協の集・出荷場建設な
ども着手し、町民の福祉向上を
図りたいと考えております。

しかし本町におきましては皆様
のおかげによりまして、町議会、
執行部一丸となつて難局を乗り切
ることができましたことを心から

どうも町民皆様の深いご理解と
ご協力、ご支援をお願い申し上げ
、今年こそ、本町が飛躍の年であ
りますことを祈念いたしまして
祝詞といたします。

税を納めることの大切さ

高森中三年 津留 優子

みんなの広場



「版画・にわとり」

尾下小5年 瀬井 一二三

今日まで平凡に暮らしていた私
は、税に対して余りにも無関心で
あったと思います。なぜならば、
私にとって税とは、まだ全然関係
のない遠いものでしかないので、
そう深く考えてみることもなかつ
たからです。

それでは、昔と現代を比較して
みたらどうでしょう。

昔は幕府に米を税として納めて
いました。でも民衆のための手だ
ては何もなかったのです。が、
今日では地方公共団体が、地域を
いろいろと改善しているのです。結
局、税を納めることは自分たちの
住みよい生活をしていくための手
だてなのです。

ある日、私は父にこんなことを
言ったことがあります。私の父は
お酒も飲むし、タバコも吸いま
す。それで「お父さん、あんまり
お酒やタバコを飲むと、体にわり
けん、どっちかやめなせよ」と
言うので、父は「そうね、ほんと

「うそ」のない毎日を通して

社倉 今 泉 多美江

新しい年を迎えました。私はい
ま昨年一月のこの投稿欄で、馬
原範三さんが「この世の中で一番
悲しいことはウソをつくことだ」
と書かれたのを思い起していま
す。

平気でウソをついて、そのため
に泣かされている人、ウソをでっ
誠に生きようではありませんか。

解放の力

「友愛の心
を養い社会の
福祉に貢献す
る」これは本
校の校訓の一
つであります。

願いを校訓として掲げ
ている学校を私は知り
ません。

同和教育は友愛の心で

高森高等学校長 岡村 寿正

同和教育は職員全員の徹底し
た理解が必要であるところか
ら、本校では、その共通理解を
深めるため、その歩みは遅くも
堅実な前進を続けていると思
います。

さて本校では職員九
名からなる同和教育推
進委員会が毎週二回、
欠けることなく開か
れ、熱心な討議が行わ
れ、この委員会が推進
力となり、職員全員の
研修会が頻繁にあり、
その成果をあげていま
す。一方、公民館での
夜の学習会の指導が推
進教員を中心に毎週二
日行われています。ま
た教科における取扱
いは勿論、ホームルー
ムにおける展開も始められつつあ
ります。

はならないと思います。単に知
識としての理解は感動を伴わ
ず、感動の伴わない知識は力に
つながらず、「知は力なり」
と言いますが、知は力になるに
は、はたと眼が覚めるような驚
きをもって知が受け入れられね
ばならない。それが真の知であ
って、真の知育であるならば知
育偏重などであり得ないと思
うのであります。

未知与世 未知与世

高森幼稚園で
入園児を募集

高森幼稚園では、五十三年度の入園児を募集しています。募集人員は三歳児二十人、四歳児二十五人、五歳児三十五人の計八十人です。入園ご希望の方は、直接、高森幼稚園（高森昭和）にお申込みください。

「わが家の家計簿体験談」募集

貯蓄増強中央委員会および県貯蓄推進委員会では「わが家の家計簿」体験談を募集しています。家計簿をつけたはじめた動機や記帳上の苦心談、家計簿で発見したムリやムダなど家計簿記帳に関するものならなんでも結構です。

【原稿】①本文は四百字詰原稿用紙五枚以内。月別・項目別支出一覧表などを添付してください②原稿には氏名(ふりがな)住所、職業、年齢、家族一覧、家計簿帳帳年数、電話番号を必ず記載してください③応募原稿は返却しませ

通信講座で技
能士になろう

雇用促進事業団職業訓練大学校
では、生産現場で働いている人の
ために、一、二級技能士訓練課程
通信制訓練を行っています。

通信制訓練ですから自宅で学習
でき、しかも一、二級技能検定学
科試験が免除されます。

▽科目 一級：機械科、仕上り科、
二級：板金科、建築科、左官科、
金属塗装科、ほか二十五科
▽訓練期間 約一カ年
▽受講料 一級：七千円、二級：
五千円
▽特典 一、二級技能検定学科試
験免除
※その他くわしいことは菊地郡

県立農業大学
校の学生募集

西合志町黒石 熊本総合高等職業
訓練校へおたずねください。
電話 (096224) ②0391

県立農業大学
校の学生募集

今年四月開校予定の県立農業大
学校の学生募集が次のとおりあつ
ています。

【募集人員】▽農学科百人▽畜産
学科二十人

南阿蘇国民休暇村から見た根子岳

本町では左記のとおり祝賀会を開催します。町民各位多数のご参加をお願いします。当日は根子岳のカラー写真を贈呈

熊本名所百景

位獲得祝賀パーティー

募 集

▽期日 1月14日(土) 午後一時から
▽会場 南阿蘇国民休暇村
※お申込みは1月10日まで町観光課へ

1月16日から保
育所の入所受付

五十三年度の町内保育所の入所申込みを一月十六日から一月三十日まで受け付けます。

入所できる要件は①母親が家庭外の仕事に従事しており、母親以外の人も保育ができない場合②家庭内の仕事でも児童と離れて家事

式典は畜産センターで

**1月15日は
成人式**

大人の仲間へ一〇九人

一月十五日は成人の日。大人になったことを自覚して、みずから生きぬこうとする青年を祝い励ます国民の祝日です。ことし成人式を迎える人は、昭和三十二年四月二日から三十三年四月一日までに生まれた男女で、町の住民台帳によると次の百九人（男六十八人、女四十九人）が対象となります。町では今年も例年とおおきく、成人の日の一月十五日に畜産センターで式典を行います。もし名簿に載っていない方や、当日、里帰りされる方がおられましたら、町教育委員会（☎20611）までご連絡ください。

色見地区

.....色見地区.....

- 岩下 かよ子
- 本川 博
- △戸狩▽
- 工藤 照幸
- 野中 博之
- 岩下 博文
- △中園▽
- 本田 サチエ
- 住吉 勝子
- 高森地区
- △西中原▽
- 後藤 富徳
- 榎木 野典子
- 本田 正昭
- 田上 隆一
- △前原▽
- 荒牧 豊子
- 後藤 和光
- △小倉原▽
- 勝木 啓一
- △山鳥▽
- △洗川▽
- 後藤 藤美代
- △大村▽
- 宇藤 順子
- △東中原▽
- 除田 純子
- 岩下 みつ代
- 中嶋 邦雄
- △村山▽
- 田上 悦子
- 村嶋 久美子
- △上在▽
- 村山 久男
- 植田 真由美
- 荒牧 和美
- 片山 好則
- 佐藤 美幸
- 橋本 健之

後藤 重文

山室恵美子	後藤 重文	後藤 幸喜
寺脇由美子	木崎 啓治	山部よし子
遠山信一郎	栗屋 鉄男	佐藤 修三
本田 広行	田上 啓	秋山 高士
桐原美智生	東 美希	岩下 岳士
松本 桂治	石坂 洋一	佐野美沙子
馬原 玲子	桐原 由美	山田 安代
中嶋 由理	橋本 睦子	林 喜代美
岩下 元士	沼田 洋子	高橋 正巳
田上 利昭	木津 憲夫	小山 浩輔
木津 憲夫		山村 俊澄
		平盛 裕治
		宮下 弘実
		本田 尚美
		馬原 大悟
		松本 康男
		藤井 安美

川上由香利

江崎 和代	阿南 良市
川上由香利	甲斐 哲郎
△冬野▽	甲斐 真弓
後藤 長子	甲斐 一子
森田 直	清高 三郎
△津留▽	△永野原▽
今村 良二	古庄貴美男
津留 元親	△下切▽
甲斐 武志	
本田 朱美	
本田 美昭	
△菅山▽	△矢津田▽
藤本ふよ子	本田 洋介
工藤 栄	本田よし子
△芹口▽	伊藤 博美
甲斐 繁光	△中▽
本田けさよ	甲斐 睦夫
古庄 輝隆	
△草部▽	野尻地区
中尾 弘	
佐藤 京子	△津留▽
足立 秀美	下田 公洋

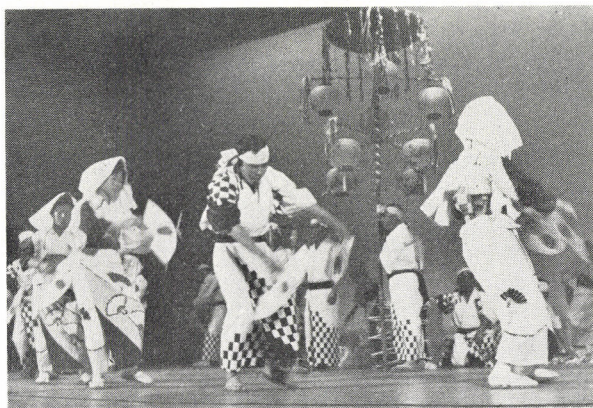
綾部さゆり

一水 菊江
 綾部さゆり
 高木 伸一
 高野 明都
 佐藤真知子
 △野尻▽
 馬原 一也
 工藤貴美子
 工藤まり子
 △尾下▽
 下田 孝雄
 宮本美千代
 △河原▽
 森 隆則
 吉良山やす子
 吉良山潮美
 後藤三佐子
 野尻 雄二
 白石美智子

ふるさと
 い手、伝承
 ふるさとと顕
 ばんば踊り
 二十六日県
 表の二子石
 金一封が贈
 この顕彰
 いふるさと
 て一昨年ス
 としが三回
 せん団体の
 りほか九団
 ました。
 ばんば踊
 政時代に、
 伝承された

民族

民族芸能ばんば踊り
県ふるさと顕彰を受賞



全国民俗芸能大会に出演した峯の宿のばんば踊り

ふるさとの民族芸能、工芸の担い手、伝承者たちをたたえる「県ふるさと顕彰」に、本町峯の宿のばんば踊りが選ばれ、さる十一月二十六日県庁で沢田県知事から代表の二子石高さん（五五）に顕彰状と金一封が贈られました。

この顕彰制度は、県提唱の新しいふるさとづくり運動の一環として一昨年スタートしたもので、ことしが三回目。県下五十数件の推せん団体の中から峯の宿ばんば踊りほか九団体、五個人が顕彰されました。

ばんば踊りは、約二百年前の寛政時代に、日向、高千穂方面から伝承された盆踊りで、「ばんば」

は盆の場、晩の広場を意味し、八月の盆には部落の人たちが初盆の家の庭に集まり踊ったといわれます。踊りは笛、太鼓、小太鼓の拍子に太夫、くどきという唄い手の歌詞に合わせ、約三十人の踊り手が輪になって、男ははち巻き、女は扇子と竹筒で拍子をとりながら、はやして踊ります。踊りに十、五種あり、「太刀切り踊り」「段七踊り」は小国の百姓一揆(き)総代中野七兵衛のはりつけを引う踊りともいわれています。

峯の宿地区では、今回の顕彰を機会に伝統の踊りを復活、末永く保存に努めることにしています。

「税の相談は

お
気
軽
に

今年も贈与税や所得税の申告時期が近づいてきました。

毎年この時期になりますと、「贈与税の計算の仕方を教えてほしい」とか、「土地を売ったのだが、申告はどうしたらよいか」など、税金についての相談が多くなってきました。

電話料は早目に
支払いましょう

ソ連では電話料金を滞納すると一日一割もの高利の延帯利息をとる制度があるそうです。日本ではそんな高利の延帯金はいたできませんが、「通話停止」制度があります。通話が止められては大切なお仕事にも重大な影響がでようというもの。電話料は期日までに必ずお支払いください。

支払期限内ですと、お近くの郵便局、銀行、信用金庫などの窓口でもお支払いねがえますが、期限を過ぎたり、請求書をなくしたりすると、電話局の窓口までお出でいただくことになります。

△高森電報電話局▽

業の現状と問題点

新春放談

厳しき増す農家経営

共販固めで不況克服を

戦前、戦中、戦後の食糧難時代をたくましく支えてきた農業。その農業も戦後三十数年を経たいまでは大きな転換期にぶち当たっています。とくに昨秋から続く円高、ドル安の傾向は、農産物の輸入拡大にも影響を及ぼし、今後の農業経営の難しさをいっそう強く感じさせます。

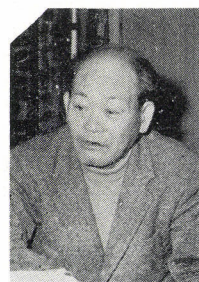
高森町では、このような激しい社会情勢の中で、ことしも「住みよい町づくり」を目ざして、町道や農業基盤の整備、教育、社会福祉などの諸施策を充実させる方針ですが、なんとこれも町が発展するには、地元の農業が栄えることが先決だともいえます。そこで新年にあたり、「高森町に見る農業の現状と問題点」と題して、農協、商工会の代表に集まってもらい、町の農政をはじめ農業はどうあるべきかを話し合っていたきました。



吉良 町長

吉良 町長がいつも言われるように農家が栄えなければ町は発展しません。なんとか農家が活気づいてほしいもんです。

吉良 いま農家が困っているのは、そまの作付面積を拡大しても



吉良 茂さん

岩下町長 葉タバコの方はいかがですか。

下田 収納も品質の面で厳しくなり、これまで反当たり平均三百五十ギの収量が三百ギに落ち込みました。従って昨年反当たり四十

岩下町長 町や農協では共同購入を呼びかけているのですが、どうも……。

吉良 糶摺（もみすり）機やコンバインなどは年に三、四日使う程度で、あとの三百六十日は休ませておく方がよい。農協は、これらの機械を売るばかりでなく、共同利用の指導もしてほしいもんです。

岩下町長 あけましておめでとうございます。昨秋からドル安、円高の傾向が続く、国内外ともに厳しさが続いている、農、商への影響はいかなるものでしょうか。

下田 昨年は豊作、豊作といながら農家収入は思ったほど良くなかったようです。

吉良 農業の生産は落ち込んでいないのに貯蓄が伸びず、貸付がふえています。転作にからむそまの競合産地がどんどんふえ、今後の農家経営は難しくなりそうです。

価格の保証がないことです。畜産についても牛肉の輸入拡大が伝えられている今日ですから期待はかけられません。

下田 今はもう畜産の利潤で生活することはできなくなりました。

吉良 仔牛の売買価格が平均二十二万二千元。ところがかりに、二十五万円で買ったとしても、成牛になるまでには二十七万円の餌代がかかれます。そこで実際は六十万円以上で売らんと採算に合わないわけですが、農家では堆肥代とあきめて売っているのです。

岩下町長 一時期は町から毎月百七、八十人も出かせぎ者がいたのですが、ずいぶん減りました。

下田 あそこは小さな農家で、出かせぎ先から決った収入が送金されていましたが、いまは農業以外で働くところはありませう。だから生活は苦しくなる一方といえます。

岩下町長 この不況を乗り切るためには、どうしても農家自体の工夫が必要になってきました。

吉良 私には町の農振協議会委員になってから特に農家経営に関心を持つようになったのですが、この農家を見てみると乗用車、トラック、トラクターなど発動機械が十台以上あります。これらはなんと共同利用の方法はとれないものですか。

下田 指導はしているのですが、農家には思惑があるんですよ。自分の使いたいときに使えない、ただそれだけなんです。農具購入のための資金貸付も、耕地が広いとか、共同利用が建前なのですが、どうも徹底しません。

吉良 まず、これらを指導徹底させることが先決です。

下田 南在にも町の農業構造改善事業で購入した共同大型トラクターがあるのですが、「思ったとくきに使えない」「あてにならない」と、利用者はさっぱりです。

吉良 思惑は農機具ばかりでなく、共同出荷、共同販売においても見られます。隣り近所よりも一円でも高く売ろうという昔からの

高森の歴史散歩

教育長 今村としお

川上城趾と日の丸塚

城から間道があり、助六道と呼ばれています。丘陵の一夜城の下に水源池があり、昔から今日まで女人禁制のことで、池の中に縦二十五、横十八の方形の経文石が沈められています。石面に書かれた梵字から判断しますと、仏恩に感謝し、湧水により人々の平穏を祈る祈禱であると思われ

城下に花を植愛せし所は今の野尻清丘衛が屋敷にて常念寺の隣也」と。

足利又太郎の墓は草部赤羽根にもあって、一字一石の供養塚がありますが、いづれが正しいかわかりません。

川上城（岡山城ともいふ）跡は、川上郡落の東方、札峠から西に北方の雑木林に覆われた山城で、北方

大谷川に面した断崖絶壁の要塞の地です。防備の固いために金幕と呼ばれる堀割の跡も残っています。山頂は十二坪ぐらいの平地で、本丸跡、延享三年、足利又太郎忠綱霊塔、野尻刑部少輔霊塔と二基の墓があり、今から二百三十二年前に野尻猪惣次惟明という人が建てた供養塔と思われる。また近くの下立岩に、二段重ね

古城考という本に川上城趾のことが書いてあります。川上城趾野尻氏祖、足利又太郎忠綱、平氏に属し宇治川に陣し、三位頼政と戦い、勲功によって上野国に居住せしが、平氏没落し頼朝郷総追捕使となり、天下一統に源氏に伏せしかば、忠綱鎌倉の猛威を怖れ、比処に逃下り畳を築いて居住すと言、子孫数代在城せり、末孫野尻刑部少輔、其子甚五左エ門忠綱まで相続す。

ことしは馬の年である。まず最初におもしろい歌をご披露しよう。

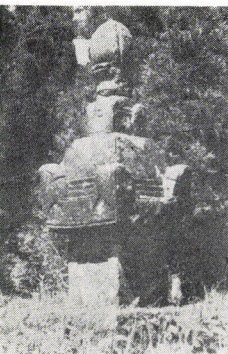
①ちいちゃいとときから面長でヒンヒン育ったのんきもの。軍馬や曲馬や競馬の馬など身分は良い方だ。そのまたほかには野次馬、じやじや馬、のろ馬にとん馬に、そのまた上手に狐馬、馬鹿は死ななきやなおらないとは、おいらのせいじゃない。



て歌って下さる皆さんありがとうございます（以下略）

これは戦時中、勇ましいものや悲壮な軍歌ばかりの中で、いかにもこっけいで、あいきょうがあり、私たちはすぐに覚えた。ついでにもう一つこっけいな話をしよう。

私が野尻村役場に勤めていたころ、河原に出張しなければならぬのだが、前夜来の大雪でとても歩いては行けそうもな



日の丸塚

大字津留の四七二番地、野尻氏蔵氏宅屋敷の後方は杉、雑木林の丘陵で一夜城と呼ばれています。屋敷内の西北方に、縦横一・八、高さ約八十センチの方形の石垣の上に、高さ一・二メートルの五輪型の墓石があります。碑文は判明しませんが、一番下段の台石の四面に直経約八センチの日の丸型の円形が刻まれ、朱で塗られた跡が残っています。人々はこの墓を日の丸塚と呼んで、足利又太郎の墓と伝えています。

足利又太郎は野尻川上の城主でその在居を宮園と呼び、前記野尻さんの屋敷を北の園と呼んでいます。一夜城は本城から約二キロで、物見の跡といわれ、川上本

②愛馬愛馬と進軍歌、ものは言わねど胸のうち、聞けばうれしい涙が出るような文句が気に入った。全くそうだよ山でも河でも、雨でも風でもどんな進まにやならなんだ、苦勞察し

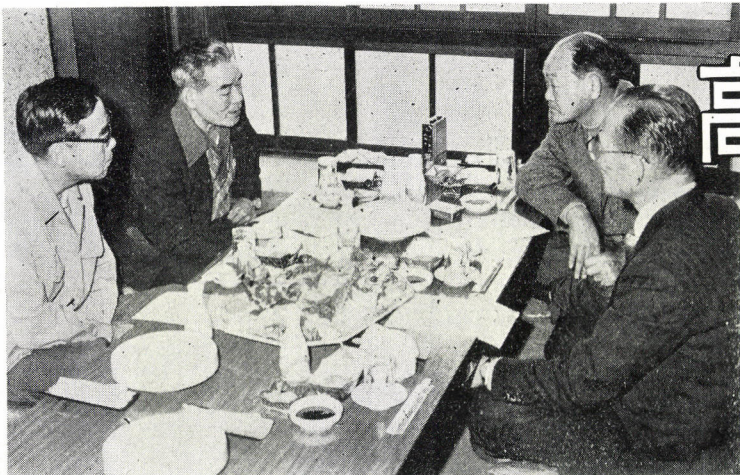
い。そこで熊谷宗幸さんの馬を借りることになった。しかし、ご承知のとおり馬は乗り手がへたくそだとわかったと、徹底的に馬鹿にする。津留から落川まで来たときの吹溜りで落馬をしてしまった。さあ、それからというもののどんなに捕えようとしてもつかまらない。こちらが十歩進めば十歩元来た道を引返して行く。やっと近づいて飛びつこうとすると、ヒヒヒーンと横に飛んで「ざましろ」といった顔でこちらを見る。とうとう出発したうまやまで帰ってしまっ

た。このときほど腹が立ち、くたばったことはなかった。もし誰かが見ていたら、これくらいこっけいな見ものはなかったらう。（お正月の初笑いとして……閑話休題）

※写真は昨年尾下の田上勝行さんが馬耕中のもので、いまでは珍らしい情景になった。

町文化財保護委員 佐藤武之

町の農業づくりを語り合う出席者

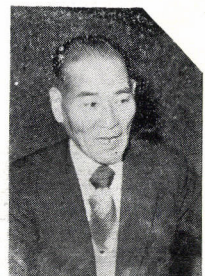


高森町・農

出席者

高森町農協参事 下田末久さん (57)
野尻農協長 古沢延生さん (58)
高森町商工会長 吉良茂さん (65)
高森町長 岩下八束さん (67)

島国根性がどうしても抜けていません。



岩下 高森町長



下田 末久さん

岩下町長 そうですね、牧野改良事業など、計画段階では協業化の話はいまはまじりませんが、播種のことになると、もう足並みがそろわなくなっているというケースが見受けられます。

吉良 商工業の協業化も難しさがあるようです。とにかく、これからの農・

岩下町長 全く同感です。今は意識の転換を図らねばなりません。高度成長期のような考えではだめです。

岩下町長 そうですね、後継者問題も町の農業が豊かになれば解決すると思います。そのために、町では今後とも町・農道を整備し、農業基盤の確立を図っていきます。

古沢 野尻では同じ生産者同士なら案外まとまりやすいようです。野尻農協ではキャベツ、ピーマンなど六部会を持っており、植え付けから出荷までが一体化しています。しかし共販はまだ弱さがあり、さらに体制固めをしなければなりません。

古沢 結局、町内の農産物の安定を図るには、みんな弱い者同士が助け合って、共販組織を盛り上げ、防衛する心を持つことが一番大切なことではないですか。

岩下町長 町には後継者育成補助金制度があり、その対象農家を回してみますと、北海道からの嫁さんもずいぶん多いですよ。

古沢 そうですね。そのために現在のような深刻な問題が起きたともいえます。とくに山間部から南郷谷の農家に嫁ぐ人はあっても逆のケースはあまりないですからネ。

県芸術功労者・熊日写真展入賞

藤野・長山氏の祝賀会

津留町議の帰国報告会も



畜産センターで開かれた藤野・長山氏の祝賀会

第五回熊本県芸術功労者には選ばれた藤野勝さん(八五)と、第十八回熊日写真展で熊日賞を受賞した長山吉彦さん(五〇)の二人の栄誉をたたえる祝賀会。それに日独青少年セミナーから帰国した津留今朝寿町

省資源・省エネルギー運動を進めている本町は、今年度新たに県指定

本町が「モデル町村」に

指定 さらに末端浸透図る

から省資源運動推進の「モデル市町村」の指定を受けました。

県知事賞を連続三回獲得するなど目ざましい活躍をされています。

祝賀会は発起人代表の岩下町長らが喜びの言葉を述べ、藤野さんと長山さんに花束と記念品が贈られました。引き続き、津留今朝寿町議からドイツ訪問の帰国報告の講演が行われ、同町議は東西ベルリンなどの青少年育成を中心にした各地の実情をくわしく伝えました。

「住所が変わっているのに役場に転出届を出していない」という方がずいぶんおられるようです。

の手続きが遅れますし、衛生関係でもレントゲンや予防接種などのお知らせができません。また税金関係も納付書が届かない

住所が変わったら すぐ転出届けを

みなさんの国民年金や国民健康保険、それに保健衛生、税務などの事務は基本台帳によって進められていきますので、転出入の届け出がないと、いざというときの連絡が不行届になります。

ため、滞納された状態となつて、あとで非常にお困りになる結果となります。

さらに駐在員さん方にも区内員さんに転出先(番地)と世帯主名の連絡をしたあと、役場の戸籍住民係に転出届を出してください。

から省資源運動推進の「モデル市町村」の指定を受けました。

県知事賞を連続三回獲得するなど目ざましい活躍をされています。

祝賀会は発起人代表の岩下町長らが喜びの言葉を述べ、藤野さんと長山さんに花束と記念品が贈られました。引き続き、津留今朝寿町議からドイツ訪問の帰国報告の講演が行われ、同町議は東西ベルリンなどの青少年育成を中心にした各地の実情をくわしく伝えました。

迷惑がかかっています。そこで町内外の転居に関係なく住所を変更されるときは、まず区内の駐在員さんに転出先(番地)と世帯主名の連絡をしたあと、役場の戸籍住民係に転出届を出してください。

から省資源運動推進の「モデル市町村」の指定を受けました。

県知事賞を連続三回獲得するなど目ざましい活躍をされています。

祝賀会は発起人代表の岩下町長らが喜びの言葉を述べ、藤野さんと長山さんに花束と記念品が贈られました。引き続き、津留今朝寿町議からドイツ訪問の帰国報告の講演が行われ、同町議は東西ベルリンなどの青少年育成を中心にした各地の実情をくわしく伝えました。

から省資源運動推進の「モデル市町村」の指定を受けました。

県知事賞を連続三回獲得するなど目ざましい活躍をされています。

祝賀会は発起人代表の岩下町長らが喜びの言葉を述べ、藤野さんと長山さんに花束と記念品が贈られました。引き続き、津留今朝寿町議からドイツ訪問の帰国報告の講演が行われ、同町議は東西ベルリンなどの青少年育成を中心にした各地の実情をくわしく伝えました。



河原・市野尾

白石博昭さん (21)

〈農業〉

4Hクラブに懸ける

昨年、私は高森町4Hクラブの会計のポストを与えられ、部員みなさんの協力でなんとかやることができました。何事もそうですが、盛り上げる雰囲気と、やる気が一致すれば十以上の力が出るものです。とくに、ことしは4Hの結成十周年を迎えます。これを機会に私たち農業青年は、理屈でなく、体で行動し、魅力ある農業づくりを頑張ろうと誓い合っているところです。

初夢新



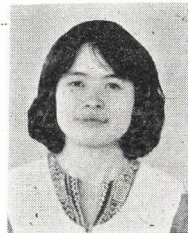
新年おめでとうございます。
昔から「1年の計は元旦にあり」と申します。みなさんは、どんな夢と希望をことしにかけられますか？

高森・昭和 緒方マチ子さん (18)
〈看護婦〉

年休いまから楽しみ

馬原医院に勤めて3年目を迎えます。昨年は阿蘇看護学院の卒業と資格試験の合格など責任いっぱいの年でした。

ことしは初めて年休がもらえそうで今から楽しみです。旅行でもできるといいなと思いますが、しかし高等学校の通信教育などもあり、当分は「遊びなし」の毎日が続きそうです。



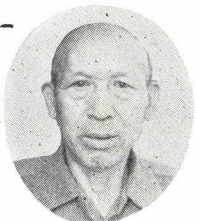
津留・上町

野尻和可さん (22)

〈保母〉

友人、家族を大事に

友だちとの話題の中に必ず出てくる言葉は結婚です。宮崎の短大時代の友人も四月には結婚されるというので、電話の音がうれしそうでした。新しい年に彼女の幸せを祈ります。
昨年は車のことで両親にずいぶん心配をかけましたが、ことしは慎重な運転で、家族旅行や父の絵かきにも同行したいと思っています。



高森・横町

浜田国男さん (66)

〈無職〉

ゲートボールで健康管理

いつの間にか六十六回目の新年を迎えてしまいました。でも、ここ数年の私たちは若返って生きがいを感じるようになりました。それは老人クラブの中にゲートボールを取り入れたからです。私は始めてまだ四か月足らずですが、ことしも毎朝近所の仲間たちとゲームを続け、自分の健康管理に役立てたいと思っています。

1978年●春インタビュー



↑したか？ ここでは町内各地の老若男女12人のみなさんに登場願ひ、新年の抱負を聞いてみました。

尾下・片山 西森忠夫さん (27)
〈農業〉

ことし四月に結婚式

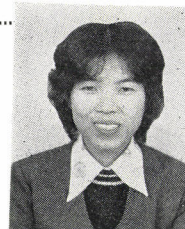
四月の結婚式を控え、ことしは最良の年となりそうです。結婚後は、まず健康に注意して明るい家庭づくりをめざします。

わが家はそ菜と畜産を中心にした農家ですが、余裕があれば牛を1頭ふやし頑張ってみようと思っています。町も生活環境や道路が急ピッチで整備されているので、将来の発展を大いに期待しています。

上色見・前原 荒牧育子さん (19)
〈農協職員〉

できれば運転免許を

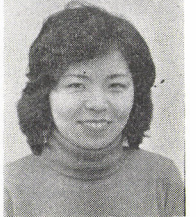
ことしは私にとって十代最後の年であり、二十代スタートの年でもあります。これまで職場、家庭とも甘えがあって、先輩や両親に迷惑をかけていたのではないかと反省しているところです。今後は自分なりに厳しさを取り入れ、りっぱな社会人を目指します。また余裕ができれば、車の運転免許をとりたいと思っています。

高森・森 上野一男さん (37)
〈県養蚕連職員〉

スポーツで健康作り

産山村から高森町に転勤して4年目を迎えました。当町は文化、スポーツともに盛んで、すばらしい町というのが実感です。

そこで、わが家もスポーツによる健康づくりに心がけ、1年を明るく過したいと思っています。新年の町への要望としては、町民の融和団結を図るため、総合グラウンド等の建設を急いでほしいと思います。



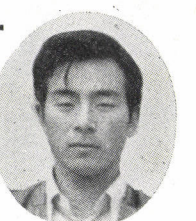
高森・天神

野田由紀美さん (21)

〈役場電話交換手〉

誠実な人になりたい

いまの仕事に就いて七か月余り。昨年は不馴れな応待で、皆さんにご迷惑をおかけしました。「声の窓口」だけに気を使いますが、やりがいのある仕事だと思っています。少しでもこの道のベテランになるよう研さんを積むと同時に、対人的にも誠意のあるスマートな人間になるよう努力したいと思っています。



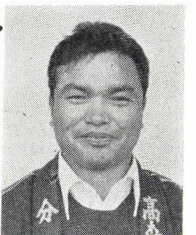
草部・社倉

田上正嘉さん (31)

〈造園業〉

郷土に生きる喜びを

いま私のやっている造園業は、二十歳のときから自信を持って選んだ職業なのですが、現在不況の一途で厳しい試練に立たされています。そこで私は新年を迎え、①乏しきを分けあい、手を取り合って、この苦境を切り抜ける ②「ふるさと草部」に生きる喜びをつくり出す一歩を努力目標として頑張る覚悟です。



矢津田・高尾野

井上敬雄さん (38)

〈農業〉

消防・防災に力入れる

高森町消防団第三分団(草部北部、百四十戸)の分団長ですが、新年を迎え、消防、防災の任務完遂の決意を新たにしています。現在、当地区の装備はポンプ積載車一台、可搬動力ポンプ四台です。道路、消防施設の充実、新しいものがありますが、より訓練の徹底を図り、郷土の守りに任ずる考えです。みなさんのご協力をお願いします。